

令和2年度 生物基礎 探究活動 【ディベート】

目的：生物学に限らず、科学は日々進化している。教科書に載っていることは過去に発見された内容が多い。教科書を使って既存の知識を得るだけでは、将来社会に進出していくための「生きる力」にならない。そこで、ディベートを行うことで、以下の能力を身につけてほしい。

- ① 書籍やインターネットから、必要かつ最新の情報を調べることができる。
- ② 得られた情報を相手にわかりやすく説明できる。
- ③ 相手の意見を聞き、理解した上で論理的・批判的に反論することができる。

流れ：ア) 答えの出ていない課題について、書物等を使って調べる。
イ) 各課題で賛成側・反対側でグループを作り、主張の内容や生徒、発表順番を決める。
ウ) 討論を行う。また、見ている生徒はどちらが優勢であったかとその理由を投票する。

評価：学年の成績（平常点と考査点）に加算します。調べ学習および討論でそれぞれ評価します。

資料：班編制・テーマ、ディベート見本→classroomの資料、 学習プリント→classroomの課題

注意：号令、挨拶、時間厳守を徹底して、迷惑をかけないように。
生命倫理に関する問題を含むので言動に十分気をつけること。

討論：肯定立論 2分
否定質問 3分 *質問に対する返答を含む
否定立論 2分
肯定質問 3分
作戦タイム 2分 *立論や質問を踏まえ、最終弁論に生かす
否定最終弁論 2分
賛成最終弁論 2分
審判 2分 計18分
*制限時間の30秒前で1ベル、制限時間で2ベル



形式：賛成1班、反論1班、審査員1班、司会・タイムキーパー1班 × 2セット

計画：

- 1時間目：(図書館) 事前説明、班分け、調べ学習1
- 2時間目：(図書館) 調べ学習2
- 3時間目：(図書館) ディベート1回目
- 4時間目：(図書館) ディベート2回目、アンケート・資料回収

*アンケートは Google フォームで、資料は classroom の課題で提出。

図書館の本について：放課後貸し出し+翌日朝返却のみ可能。

テーマ一覧

- ①「高校生での脊椎動物の動物解剖実習を禁止にすべきである。」(体内環境、生態系)
- ②「ヒトに対するゲノム編集を禁止すべきである」(細胞、遺伝子)
- ③「出生前診断を禁止にすべきである」(遺伝子、体内環境)
- ④「脳死患者からの臓器移植を廃止すべきである」(体内環境)
- ⑤「日本は熱帯木材の輸入を禁止すべきである。」(植生、生態系)
- ⑥「犬、猫以外の外来種をペットにすることを禁止にすべきである。」(生態系)
- ⑦「動物園を廃止すべきである」(植生、生態系)
- ⑧「日本の捕鯨船を禁止すべきである」(生態系)

テーマの解釈について：「捕鯨船を禁止すべき」で、賛成側は全面禁止が前提です。例えば、商業捕鯨は禁止だが、調査捕鯨は可能、のような部分否定は、賛成側はできません。(否定側は部分否定可能です。)

対戦表

(一回目)

	テーマ	賛成	反対	審判	場所
1回戦	⑤	8	3	5	A
	⑥	2	1	6	B
2回戦	⑦	6	5	2	A
	⑧	4	7	8	B

(二回目)

	テーマ	賛成	反対	審判	場所
1回戦	①	7	2	1	A
	②	3	6	4	B
2回戦	③	1	4	7	A
	④	5	8	3	B

* 場所 A は図書館南の生徒玄関寄り、場所 B は東よりの円卓を指す。

班編制

1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班
2	5	4	1	8	7	3	○6
○10	11	9	○16	12	15	14	13
17	21	○24	19	○18	20	23	22
25	○26	31	32	30	○29	27	28
37	35	34	33	38	36	○40	39
41							

○は班長

令和2年度 生物基礎 ディベート 調べ学習プリント

1 生物基礎ディベートのICEルーブリック *Eフェーズを目指しましょう

Iフェーズ：自分の考えを軸にして物事を考え、発言できる。

Cフェーズ：自分の考えはあくまで1つの視点でしかないと捉え、他者の視点も理解して物事を踏まえ、物事の本質や問題の原因を見出し、発言できる。

Eフェーズ：自分や他者の意見を十分に理解して、さまざまな視点から物事を多角的に捉え、建設的な対立を行って物事の本質や問題の原因を見出し、発言できる。

2 資料整理 *A4で1ページに収まらない場合は、2、3ページに記録してよい。(ただ多すぎてもいいものでもない。)

テーマ「」

ディベートのための素材集め *具体的なデータ、文章、ディベートでの台詞や予想される反論など

*インターネットのコピペの場合は必ず、参考文献(もしくはURL)を残すこと。

テーマ「」

ディベートのための素材集め *具体的なデータ、文章、ディベートでの台詞や予想される反論など